

クレアから世界へ向けてのメッセージ

クレアでは、今回の東日本大震災後の世界各地からの支援に対する感謝の意を表明するとともに、今後ともJETプログラムや地域間交流等を通じて、日本と世界各国との相互理解を進めながら、日本を元気にする取組みに貢献していく旨を対外的に発信するため、ホームページに6言語（英語、フランス語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語）にて理事長メッセージを掲載しました。



クレア理事長メッセージ

今般の東日本大震災において、犠牲となられた方々に対し深い哀悼を、また被災された方々や地域、地方自治体に対し心からのお見舞いを申し上げます。

世界各地の地方自治体、関係機関、JETプログラム参加者の同窓会（JETAA）等から、わたくしどもの東京本部と各海外事務所に、今般の大震災で犠牲となられた方々への深い哀悼と被災された方々および地方自治体への温かいお見舞いや義捐金の申し出等をいただきました。

日中韓3か国地方政府交流会議や日仏自治体交流会議、JETAA等に加えて、米国、英国、豪国、ニュージーランド等の姉妹都市を軸にした支援の輪が大きく広がっております。それとともに、姉妹・友好関係にある海外の自治体等から個別の被災地の自治体や住民に向けての物心両面からの支援をいただいています。

私たちクレアは、姉妹・友好交流の促進を支援してまいりましたが、こうした姉妹・友好関係を通じた日頃の地域間交流、草の根交流が、どのような局面にあっても、まさに、このような大震災時においても、極めて重要な役割を果たすことを強く再認識いたしました。

被災したJET参加者の中には、被災地に留まり、今回の大震災からの復旧・復興に向けて、地元の人々とともに、ボランティアで活動をしている方々がいらっしゃいます。日本各地に居住する現役のJET参加者の大半が参加するネットワーク組織「AJET」も、外国語による震災関連の情報提供や義捐金の呼びかけなどをボランティアで行っています。

海外では、JETAAが世界各地で、いち早く、日本支援を呼びかける活動を行ってくれました。このJETプログラム関係者の方々の勇気ある、そして心温まる被災地支援の活動に対し、心より感謝申し上げます。JETプログラムの長い歴史を通じて築き上げられた日本とJET関係者たちを結び付ける強い絆に、あらためてカづけられています。

JETプログラムに参加し、被災地の学校に勤務していた二人のアメリカ人青年が犠牲となりましたことは痛恨の極みです。彼らは、日本と教え子である子ども達をこよなく愛し、母国との架け橋となろうと、日々活動をし、住民からも深く信頼され愛されていました。2人の働きを知れば知るほど、JETプログラムが地域で果たす役割の素晴らしさに感動し、JETプログラムの一翼を担う光栄と責任の重さを痛感いたします。2人に深い哀悼と感謝をささげるとともに、2人の思いを大切にし、さらによりJETプログラムになるように前進してまいります。

私たちは、こういう時であるからこそ、草の根交流で築かれる信頼をより強固なものとして、被災地が復興し、日本全体が元気を取り戻す取組みに貢献したいと思っています。

日本の自治体では、学校での外国語教育や地域社会での国際交流を進めるためJET参加者に大きく期待しています。私たちクレアでは、特に、被災地の状況や当面の原発に関しては政府や自治体と連携しつつ情報を提供するとともに、被災地にある自治体に対してもJET参加者への配慮をお願いしています。私たちクレアもそして日本各地の人々も、新しいJET参加者とお会いすることを心待ちにしています。

また、クレアでは、震災直後から、被災した外国人住民の方々が、必要な情報や支援を受けられるよう、震災に関する多言語情報の提供など、各地の地域国際化協会による活動を支援しています。今後も、関係機関等と連携しながら、被災した外国人住民の方々への支援を継続していきます。

海外からの観光客の誘客等、地域経済を元気にする取組みについても、本部、海外事務所一体となって、各地の自治体の海外に向けた取組みを支援してまいります。

クレアは、今回の大震災で寄せられた、世界各地のJET経験者の皆さまや自治体、市民の皆さまからの強く温かい支援を糧に、国際化を通じた地域の活性化に寄与すべく、引き続き、自治体の様々な交流活動を積極的に支援、促進していく所存です。そのことによって、私たちは大震災後の日本を、自然災害にもより強く国際化にもよりよく対応できる国につくりあげたいと思っています。

そのことは日本のためだけではなく、同じような厳しい自然環境をもつ国々のためでもあると私は思っています。昨年クレアを訪問してくださった東南アジアからのお客様がおっしゃいました。「日本は洪水、地震、火山活動等を乗り越えて高度な経済発展を成し遂げよい社会を築いてきた。自分たちの国も地震、洪水、火山活動等の自然災害があるが、日本が困難を乗り越え今日を築いてきた姿は、自分たちの励みになっている」、と。

皆さま方のご支援、また世界的な連帯に支えられながら、これからも東京本部と各海外事務所ともにクレアの事業に精進してまいります。今後ともよろしくご厚意申し上げます。

クレア理事長 木村 陽子